

H15.7.25 (金) 日本経済新聞 (朝刊)

バイオ研究向け システムを整備

阪大と中国科学院

大阪大学サイバーメディアセンターと中国科学院微生物研究所(北京)は二十四日、多数のコンピュータを接続して超高速計算する「グリッドコンピューティング(超高速計算網)」を利用した研究システムを共同で整備する、と発表した。バイオテクノロジー研究で、医薬品開発などを効率よく進める。

両研究機関が保有する遺伝子やたんぱく質などのデータベースを相互接続、研究者が必要な情報を素早く検索できるシステムを作る。すでに中国のデータベースを日本で検索できるようにした。

四年後をメドにシステム全体を完成させ、両国の研究者が利用できるようにする。阪大は今後、韓国やシンガポールの研究機関と同様の共同計画を進める方針だ。